

① 学ぶ力育成プログラム

全国平均並の学力が定着してきているものの、将来はAI等による職業代替可能性が高まり、創造性が必要な業務等が仕事の中心になることが想定される中、子どもたちが、夢や目標の実現に向け、自己実現を図るために必要となる学ぶ力を確実に育成する必要があります。



つまずいた問題をグループで学び合う

🏠 生き活き指標

●「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒の割合

小学校6年生 60.4% ➡ **70.0%**

中学校3年生 37.5% ➡ **50.0%**

●全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との差

小学校6年生
▲1ポイント ➡ **+1ポイント**

中学校3年生
+1ポイント ➡ **+1ポイント**

●「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童生徒の割合

小学校6年生 80.8% ➡ **84.0%**

中学校3年生 80.0% ➡ **83.0%**

📋 重点施策

■教師の授業力の向上

校長のビジョンと戦略に基づく学校経営を支援し、教育活動の質の向上を図る学校風土を醸成します。教員の授業観の転換を図り、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を推進します。また、教職員の働き方改革を推進し、児童生徒の指導などに専念できる環境を整備します。

■PBL（課題解決型学習）の推進

子どもたちが、多様な他者との協働の下、自ら課題を発見し解決する過程を通して、課題解決に必要な資質・能力を身に付けるPBLを推進することで探究的な学びの充実を図り、主体性や協調性等を育み、学ぶ意欲の向上につなげます。

🎯 推進施策

- ☐ 就学前教育の質の向上
- ☐ 高等学校における学力の向上



端末を用いた学び



PBLの成果発表